

ノーリツ フェンシングクラブ、 初陣ながら全日本男子サーブル団体でベスト 8

～全日本個人でも澤田 16 位、大阪フルーレ杯で安部 3 位～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社：神戸市、代表取締役社長：國井総一郎、資本金：201億円、東/大証一部上場)のフェンシングクラブは、11月27日に開催された「第64回全日本フェンシング選手権大会」の男子サーブル¹団体戦²において初出場ながらベスト8の成績を残しました。9月8日に行われた同大会男子サーブル個人戦では、澤田が16位の成績となったほか、10月2日に開催された第40回大阪フェンシング選手権大会では一般男子の部で安部が3位となるなど創部1年目で素晴らしい結果を残しました。



サーブル男子団体、初戦の様子

◆初出場ながら男子サーブル団体で、全国ベスト8

ノーリツフェンシングクラブ(近畿ブロック代表)は、11月27日、大垣市武道館で開催された全日本フェンシング選手権大会男子サーブル団体戦において準々決勝で岐阜クラブ(東海ブロック代表)と対戦し28対45で敗れましたが、初出場ながらベスト8となりました。トーナ



左から選手の安部、向竹、澤田
後列は監督の西山



試合後、対戦チームと挨拶するフェンシングクラブ

メント方式でカシワバラコーポレー

ション(中国ブロック代表)、立命館大学(日本学生フェンシング連合)を45対30、45対42と下し、3回戦まで進みました。

創部1年目の今年、安部、向竹、澤田の3選手はそれぞれ横浜、三重、埼玉で営業マンとして通常勤務をこなしながら練習に励んできました。

¹ フェンシング3種目(フルーレ、サーブル、エペ)の一つ。得点となる部位である上半身への突きと切りで、攻撃権とそれを排除した返しによって有効面へのヒット、カットを競う。

² 各チーム3名ずつ3分間の9試合リレー方式。45本先取とする。試合方式はエリミナシオン・ディレクト方式(敗者復活なしのトーナメント戦)

◆個人戦でも澤田が全日本 16 位、安部は大阪フルーレ杯で 3 位

9月8日から国立代々木競技場で開催された全日本フェンシング選手権個人戦では、総勢 84 名中、近畿ブロック代表として出場した澤田、向竹が共に予選を勝ち抜きました。翌 9 日に行われた決勝トーナメントでは、澤田が総合成績 16 位と健闘しました。澤田は一回戦、二回戦を勝ち、ベスト 8 をかけた三回戦で警視庁の選手に 15 対 8 で敗れました。向竹はまる 3 年近いブランクがありながら、身体作りががんばってきましたが、連日の真剣勝負に思うように身体が動かず一回戦で大学生に敗れ、総合成績 37 位でした。



大阪フルーレ杯 3 位の安部(左)と西山監督

10月2日に、なみはやドームで開催した大阪フェンシング選手権(大阪フルーレ杯)で、一般男子に出場した安部は総当たり戦の 1 回戦を 3 位で通過。36 人で競う 2 回戦(トーナメント)に進みました。ここから安部選手はベスト 4 まで勝ち残り、準決勝で大学生に敗れ、決勝には進めませんでした。3 位と素晴らしい結果を残しました。



全日本個人戦、向竹(左)



大阪フルーレ杯、安部(右)



全日本個人戦、澤田(右)



9 月 3 日の合同練習、向竹と澤田(右)